

流域治水協議会の上下流交流会について

- ◆ 荒川水系流域治水協議会は、関連自治体が多数のため、東京ブロック(荒川下流)、埼玉ブロック(荒川上流)に分けて実施。
- ◆ 一方、流域治水プロジェクトは、荒川水系一体で取り組む必要があるにも関わらず、令和3年度まで上下流交流の場が少なかった。
- ◆ そこで、令和4年度から、東京ブロック・埼玉ブロックの連携・交流を図るため、各協議会への相互参加(取組情報の共有)、交流をスタート。
- ◆ 令和5年2月13日には、東京ブロック・埼玉ブロックの全構成員に声かけをして、合同現地見学会を初開催し、総勢46名(25団体)の方が参加。
- ◆ 今年度においても、東京ブロック・埼玉ブロックの全構成員に声かけをして、合同現地見学会を開催予定(見学箇所は未定)

<全体行程>



<AM: 荒川下流の流域治水(amoa、新田地区高規格堤防、足立区都市農業公園(鹿浜))>

荒川下流部の
流域治水について説明荒川放水路等の概要説明
(amoa)高規格堤防整備の説明
(新田地区高規格堤防)高台まちづくり・賑わい創出の説明
(足立区都市農業公園(鹿浜))

<PM: 荒川第一調節池(彩湖自然学習センター)>



荒川第一調節池の概要説明



<PM: 荒川第二・三調節池(あらいけDX体験館)>



完成予想をVR体験



荒川第二・三調節池事業の概要説明